格子なき牢獄（1938）

PRISONS SANS BARREAUX

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 99分
初公開日 1939/12
公開情報 劇場公開

【解説】

ドイツ映画「制服の処女」に少し似た趣を持つ名作少女映画。と言っても舞台は感化院で、不良少女を善導しようという院長と最も反抗的な一人の少女、そして彼らの間に立つ若い医師の愛憎のトライアングルを滋味深く描いたフランス映画らしい内容だ。イヴォンヌは徳をもってこそ非行に墜ちた少女を救えるとの信念で、特に素行の悪いネリーに接する。そんな院長に徐々に心を開くネリー。が、イヴォンヌの恋人ギーが保険医として赴任してから様相が変わる。ネリーはギーに魅かれ、イヴォンヌの優しさを深読みするようになる。彼とネリーの間をそうしておいて裂くのだ、と……。前にも増して反発するネリーにイヴォンヌは手を焼く。が、ギーには、気の毒な娘なのでいたわってやるよう頼むのだった。そのうちギーも本心からネリーを愛するようになり、ネリーもイヴォンヌの寛大さに涙する。おのが恋を諦めてネリーを救った院長は、二人の門出を心より祝福するのだった。印象的なのは、ネリーへの信頼を示すため院長が彼女に外出の用向きを頼み、そこで、院を出た彼女が伸びやかに外気を吸い、陽光溢れる野道をたわむれる開放的なシーンだ。監督のモギーはデビュー作の「赤ちゃん」とこの二作目で大評判を取ったが、戦争中はハリウッドに渡り、以降振るわなくなってしまった。

【クレジット】

監督	レオニード・モギー	Leonide Moguy
脚本	レオニード・モギー	Leonide Moguy
	ハンス・ウイルヘルム	Hans Wilhelm
撮影	クリスチャン・マトラ	Christian Matras
	クロード・ルノワール	Claude Renoir
出演	コリンヌ・リュシエール	Corinne Luchaire
	アニー・デュコー	Annie Ducaux
	ロジェ・デュシェーヌ	
	ジネット・ルクレール	Ginette Leclerc

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.